

平成29年2月8日

平成30年度埼玉県公立学校教員採用選考試験（29年度実施）の  
実施計画の概要について

1 平成30年度埼玉県公立学校教員採用選考試験の実施計画の概要

(1) 選考試験の対象となる志願区分・教科等

志願区分	教科等
小学校等教員	—
中学校等教員	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
高等学校等教員	国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、音楽、美術工芸、書道、英語、農業、電気、機械、情報技術、工業化学系、商業、家庭、看護、福祉、情報
特別支援学校教員	特別支援教育、自立活動
養護教員	—
栄養教員	—

※ 栄養教員については、小・中学校に配置する。

(2) 採用見込数

ア 小学校等教員	約770名	(約820名)
イ 中学校等教員	約440名	(約490名)
ウ 高等学校等教員	約330名	(約360名)
エ 特別支援学校教員	約170名	(約140名)
オ 養護教員	約35名	(約45名)
カ 栄養教員	約10名	(約10名)
合計	約1,755名	(約1,865名)

※ 括弧内は、平成29年度採用見込数

(3) 試験期日

ア 小学校等教員、中学校等教員、養護教員、栄養教員

- ・ 第1次試験  
平成29年7月9日（日）
- ・ 第2次試験
  - ① 平成29年8月26日（土）・27日（日）
  - ② 平成29年9月9日（土）・10日（日）のうち指定する1日

イ 高等学校等教員、特別支援学校教員

- ・ 第1次試験  
平成29年7月9日（日）
- ・ 第2次試験
  - ① 平成29年8月5日（土）・6日（日）
  - ② 平成29年8月17日（木）～24日（木）のうち指定する1日

(4) 試験会場

ア 小学校等教員、中学校等教員、養護教員、栄養教員

- ・ 第1次試験  
志願区分、教科別に県内大学において実施する。  
なお、小学校等教員及び中学校等教員の一般選考を宮城県仙台市においても実施する。
- ・ 第2次試験  
志願区分、教科別に県内大学及び県立総合教育センターにおいて実施する。

イ 高等学校等教員、特別支援学校教員

- ・ 第1次試験  
県立伊奈学園総合高等学校及び県立伊奈学園中学校において実施する。  
なお、高等学校等教員（国語、数学、理科、英語）の一般選考及び特別支援学校教員（特別支援教育）の一般選考を宮城県仙台市においても実施する。
- ・ 第2次試験  
県立伊奈学園総合高等学校、県立伊奈学園中学校及び県立特別支援学校さいたま桜高等学園において実施する。

(5) 選考区分

志願区分		小学校 等教員	中学校 等教員	高等学校 等教員	特別支援 学校教員	養護 教員	栄養 教員	
一般選考		○	○	○	○	○	○	
特 別 選 考	障害者特別選考	○	○	○	○	○	○	
	教職経験者 特別選考	経験者特別選考	○	○	○	○	○	○
		臨時的任用教員 経験者特別選考	○	○	○	○	○	○
	社会人特別選考			○ (理科) (家庭) (看護) (福祉)	○ (自立活動)			
	大学推薦特別選考	○	○ (理科) (技術)	○ (数学) (理科)				
	埼玉教員養成セミナー特別選考	○						

※ 上表のほか、全ての志願区分・教科（科目）において、教職大学院が推薦する者を対象とした大学推薦特別選考を実施

(6) 特定の資格・実績等による加点

分野	志願区分 (教科)	加点要件の概要	加点
国際貢献	全区分	青年海外協力隊員又は日系社会青年ボランティアとして、出願時まで24か月以上の国際貢献活動経験を有する者	10点
英語に関する 資格等	小	英語の中学校教諭普通免許状又は高等学校教諭普通免許状を所有している者	10点
	中(英語) 高(英語)	次のいずれかに該当する者 ・実用英語技能検定1級合格者 ・TOEFL (iBT) 100点以上取得者 ・TOEIC 895点以上取得者 (IPテストは不可)	10点
英語以外の 外国語の 教員免許	高(国語)	中国語の高等学校教諭普通免許状を所有している者	10点
	高(英語)	フランス語、ドイツ語、中国語のいずれかの高等学校教諭普通免許状を所有している者	10点
スポーツ 実績	中・高 (全教科)	県教育委員会が指定する競技種目において、主な国際大会又は国内大会に選手として登録された者 (国内大会はベスト8以上の成績を収めた者に限る)	10点 又は 20点
		剣道四段以上又は柔道四段以上の者 (中学校等教員のみ)	5点
特別支援 学級担当	小・中	特別支援学校教諭普通免許状を所有し（取得見込みは不可）、かつ、特別支援学級担当を強く希望する者	10点

※ 第1次試験の合計点に加点する。

(7) 選考試験の内容

	小学校等教員、中学校等教員 養護教員、栄養教員	高等学校等教員 特別支援学校教員
第1次試験	①一般選考 ・筆答試験（一般教養・教職科目） ・筆答試験（専門分野） ②特別選考 （臨時的任用教員経験者特別選考A選考） ・筆答試験（専門分野） ・集団面接	①一般選考 ・筆答試験（一般教養・教職科目） ・筆答試験（専門教科（科目）） ・実技試験 （高等学校等教員：保健体育） ②特別選考 （臨時的任用教員経験者特別選考A選考） ・筆答試験（専門教科（科目）） ・集団面接 ・実技試験 （高等学校等教員：保健体育）
第2次試験	・実技試験 （中学校等教員：理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語） （養護教員） ・論文試験 ・個人面接 ・集団討論 ・適性検査	・筆答試験（専門教科（科目）） ・論文試験 ・個人面接 ・集団討論 ・集団面接 ・適性検査 ・英語による面接 （高等学校等教員：英語） ・実技試験 （高等学校等教員：音楽、美術工芸、書道）

※ 特別選考のうち、障害者特別選考、経験者特別選考、臨時的任用教員経験者特別選考B選考、臨時的任用教員経験者特別選考C選考、社会人特別選考、大学推薦特別選考は、原則として第1次試験を免除する（社会人特別選考、大学推薦特別選考については、志願内容によっては、別途第1次試験を実施する。）。

※ 臨時的任用教員経験者特別選考C選考については、第2次試験の論文試験を免除する。

(8) 試験要項の配布

配布開始時期 平成29年3月中旬（予定）

(9) 志願書の受付期間

- ・インターネットの場合 平成29年4月10日（月）～4月28日（金）
- ・郵送の場合 平成29年5月2日（火）消印有効
- ・持参の場合 平成29年5月11日（木）～5月15日（月）

※ インターネット受付の対象は、一般選考志願者（加点申請を行う者を除く。）とする。

(10) 試験結果の通知

ア 第1次試験の結果

- ・平成29年7月27日（木）に第1次試験受験者全員に発送する。
- ・あわせて、同日、埼玉県教育委員会ホームページ上に合格者の受験番号を掲載する。

イ 第2次試験の結果

- ・平成29年10月10日（火）に第2次試験受験者全員に発送する。
- ・あわせて、同日、埼玉県教育委員会ホームページ上に合格者の受験番号を掲載する。

2 平成30年度埼玉県公立学校教員採用選考試験の主な変更点

(1) 選考試験の対象となる教科等

志願区分	平成30年度採用選考	平成29年度採用選考
高等学校等教員	国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、音楽、美術工芸、書道、英語、農業、電気、機械、情報技術、 <u>工業化学系</u> 、商業、家庭、看護、福祉、情報	国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、音楽、美術工芸、書道、英語、農業、電気、機械、 <u>建築</u> 、 <u>土木</u> 、情報技術、商業、家庭、看護、福祉、情報

(2) 加点措置の見直し（第1次試験）

ア 小学校における外国語（英語）教育の充実に対応するため、新たに、小学校等教員について英語の中学校教諭普通免許状又は高等学校教諭普通免許状を所有している者を加点の対象とする。

イ 高等学校においてフランス語、ドイツ語、中国語を指導できる者を確保するため、新たに、高等学校等教員（国語）については中国語の高等学校教諭普通免許状、高等学校等教員（英語）についてはフランス語、ドイツ語、中国語のいずれかの高等学校教諭普通免許状を所有している者を加点の対象とする。

ウ 特に秀でた技能等を有し、学校における運動部活動の活性化に資する者を確保するため、スポーツ大会で一定の成績を収めた者に対する加点を見直し、国内大会の場合は5点から10点に、国際大会の場合は10点から20点に拡大する。

(3) 総合読解の見直し（第2次試験）

高等学校等教員、特別支援学校教員について、これまで、総合読解として、論文・統計などの文献・資料の読解を通して、400字以内で自分の考えを論述させる試験を実施していたが、受験者の読解力、表現力、幅広い教養の有無等をより一層適切に把握するため、字数を800字程度に増やし、あわせて名称を論文試験に改める。

(4) 面接試験の見直し（第2次試験）

小学校等教員、中学校等教員、養護教員、栄養教員について、これまで、第2次試験で個人面接と集団面接を実施していたが、受験者のコミュニケーション能力等を適切に把握するため、集団面接を集団討論に変更する。